

II. 調查結果

I. 調査結果

1. 人権全般

(1) 基本的人権の内容の周知

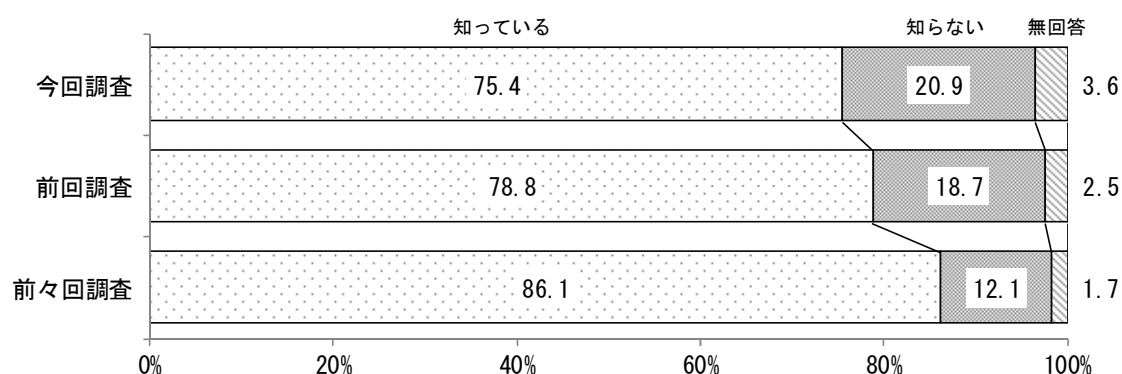
問 1-1 基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されています。
あなたは、このような基本的人権の内容を知っていますか。

【いずれかに○印を】

(基本的人権には思想、表現の自由などの自由権や生存権などの社会権、参政権などがあります。)

- 1. 知っている → (副問へ)
- 2. 知らない → (問 1-2 へ)

図 1-1 基本的人権の内容の周知 (%)



基本的人権の内容については、「知っている」の割合が75.4%、「知らない」が20.9%となっている。

平成 24 年度に実施した人権に関する県民意識調査（以下「前回調査」という。）、平成 14 年度に実施した人権に関する県民意識調査（以下「前々回調査」という。）と比較すると、「知っている」の割合は減少してきており、「知らない」は増加してきている。

表 1-2 基本的人権の内容の周知【性別】 (%)

	男性			女性		
	今回調査	前回調査	前々回調査	今回調査	前回調査	前々回調査
知っている	77.9	83.1	89.3	73.9	77.5	84.3
知らない	19.4	15.7	9.4	22.0	21.0	13.8
無回答	2.7	1.2	1.3	4.0	1.5	1.9

性別で見ると、「知っている」の割合は女性が73.9%、男性が77.9%と男性が高くなっている。

前回調査、前々回調査と比較すると、男女ともに「知っている」の割合は減少し、「知らない」は増加してきている。

表 1-3 基本的人権の内容の周知【年齢別】 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
知っている	88.2	76.5	81.1	80.8	79.4	73.7	67.9
知らない	5.9	21.7	18.3	18.4	17.4	22.6	25.0
無回答	5.9	1.7	0.6	0.8	3.2	3.6	7.1

年齢別で見ると、「知っている」の割合は、10歳代が88.2%で最も高く、次いで30歳代が81.1%、40歳代が80.8%であり、70歳以上が67.9%で最も低くなっている。

表 1-4 基本的人権の内容の周知【職業別】 (%)

	農林漁業	商工サービス業	勤め	職員、公務員及び	医療関係者及び	教育・福祉関係者	その他有職	家事専業	生徒・学生	無職
知っている	73.4	77.2	74.1	90.0	90.0	71.9	65.9	90.0	71.5	
知らない	24.8	18.9	23.1	8.5	8.5	25.0	29.6	7.5	22.9	
無回答	1.8	3.9	2.8	1.5	1.5	3.1	4.5	2.5	5.7	

職業別で見ると、「知っている」の割合は、『教育・福祉・医療関係者及び職員、公務員』と『生徒・学生』が90.0%で最も高く、次いで『商工サービス業』が77.2%、『勤め』が74.1%であり、『家事専業』が65.9%で最も低くなっている。

【参考】全国調査（内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<基本的人権についての周知度>

問1 あなたは、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。

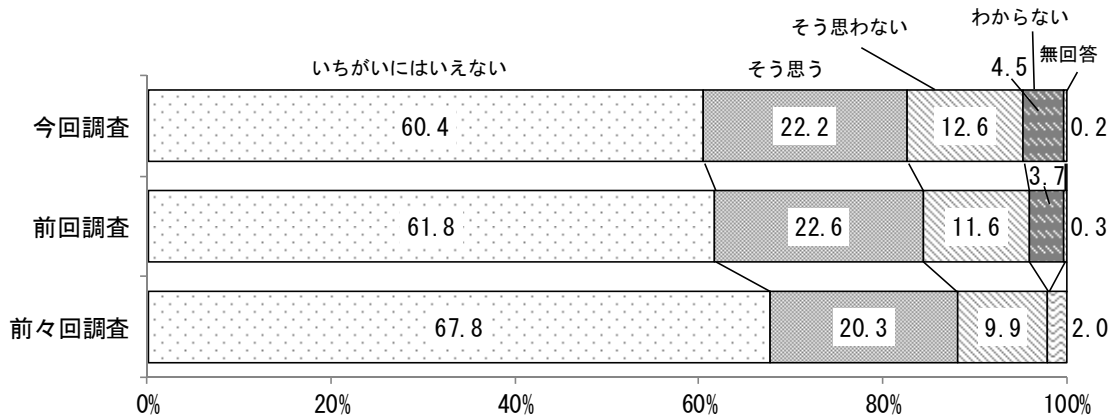
	平成 29 年 10 月	(参考)平成 24 年 8 月
・知っている	81.4%	82.8%
・知らない	18.6%	17.2%

(2) 日本の基本的人権

問1-1 副問 [問1-1で「1. 知っている」と答えた方にお尋ねします]
 あなたは、今の日本は、基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。
 【○は1つだけ】

1. そう思う
2. いちがいいにはいけない
3. そう思わない
4. わからない

図 1-5 日本の基本的人権 (%)



* 前々回調査には、「わからない」の回答項目は設定していない。

日本は基本的人権が尊重されている社会だと思うかについては、「いちがいいにはいけない」の割合が60.4%、「そう思う」が22.2%、「そう思わない」が12.6%となっている。

前回、前々回調査と比較すると、「いちがいいにはいけない」の割合は減少してきており、「そう思わない」は増加してきている。また、「そう思う」はあまり変化が見られない。

表 1-6 日本の基本的人権【性別】 (%)

	男性			女性		
	今回調査	前回調査	前々回調査	今回調査	前回調査	前々回調査
そう思う	26.4	24.3	25.6	18.9	20.8	16.1
いちがいにはいけない	58.2	60.1	62.5	62.4	63.5	71.9
そう思わない	12.5	12.3	10.0	12.5	11.1	9.8
わからない	2.9	2.9	-	5.8	4.4	-
無回答	0.0	0.4	1.8	0.5	0.2	2.1

性別で見ると、男女ともに「いちがいにはいけない」の割合が最も高くなっている。また、「いちがいにはいけない」は女性の割合が高く、「そう思う」は男性の割合が高くなっている。

前回、前々回調査と比較すると、「そう思わない」の割合は男女ともに増加してきている。また、前回調査より、「そう思う」は男性のみ増加している。

表 1-7 日本の基本的人権【年齢別】 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
そう思う	26.7	20.5	19.7	20.4	20.2	20.1	29.4
いちがいにはいけない	66.7	63.6	65.7	63.5	59.6	59.5	55.8
そう思わない	6.7	10.2	10.2	10.9	15.2	15.9	10.4
わからない	0.0	5.7	4.4	5.2	4.9	4.2	3.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7

年齢別で見ると、「そう思う」の割合は、70歳以上が29.4%で最も高く、次いで10歳代が26.7%、20歳代が20.5%であり、30歳代が19.7%で最も低くなっている。

また、「そう思わない」の割合は、60歳代が15.9%で最も高く、10歳代が6.7%で最も低くなっている。

表 1-8 日本の基本的人権【職業別】 (%)

	農 林 漁 業	サ ー ビ ス 業	商 工 業	勤 め	職 員 、 公 務 員 及 び	医 療 ・ 福 祉 ・ 社 会 工 働 者	教 育 ・ 学 校 教 員 ・ 学 生	そ の 他 有 職	自 由 業 、 そ の 他 有 職	家 事 専 業	生 徒 ・ 学 生	無 職
そう思う	28.8	21.4	19.7	19.7	24.5	24.5	28.3	28.3	19.5	27.8	21.2	
いちがいにはいけない	52.5	59.2	64.0	64.0	60.9	60.9	56.5	56.5	58.5	61.1	60.1	
そう思わない	16.3	14.3	10.5	10.5	11.6	11.6	13.0	13.0	15.3	5.6	13.7	
わからない	2.5	5.1	5.7	5.7	3.0	3.0	2.2	2.2	5.1	5.6	4.7	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.4	

職業別でみると、「そう思う」の割合は、『農林漁業』が28.8%で最も高く、次いで『自由業、その他有職』が28.3%、『生徒・学生』が27.8%であり、『家事専業』が19.5%で最も低くなっている。

また、「そう思わない」の割合は、『農林漁業』が16.3%で最も高く、『生徒・学生』が5.6%で最も低くなっている。

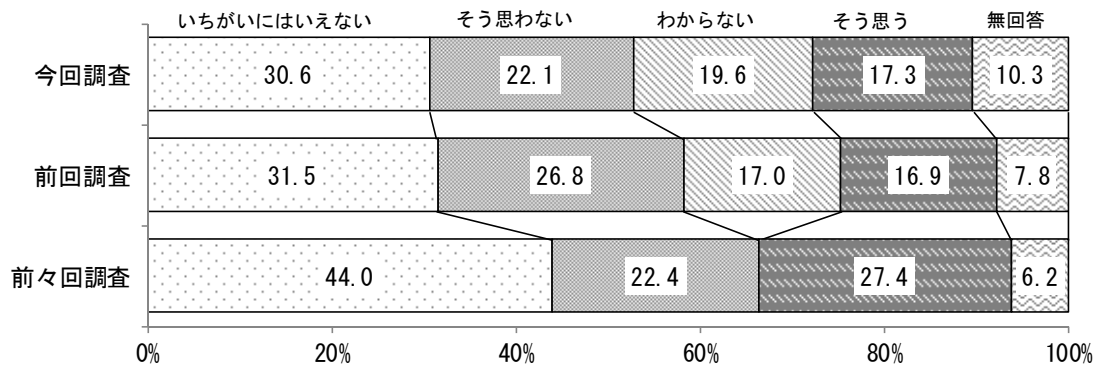
(3) 人権意識の変化

問1-2 あなたは、国民一人ひとりの人権意識は、4～5年前に比べて高くなっていると思いますか。

【○は1つだけ】

1. そう思う
2. いちがいにはいけない
3. そう思わない
4. わからない

図1-9 人権意識の変化 (%)



* 前々回調査には、「わからない」の回答項目は設定していない。

国民の人権意識は高くなってきているかについては、「いちがいにはいけない」の割合が30.6%、「そう思わない」が22.1%、「わからない」が19.6%、「そう思う」が17.3%となっている。

前回、前々回調査と比較すると、「いちがいにはいけない」の割合は減少してきている。

また、前回調査より、「そう思う」や「わからない」の割合は増加し、「そう思わない」は減少している。

表 1-10 人権意識の変化【性別】 (%)

	男性			女性		
	今回調査	前回調査	前々回調査	今回調査	前回調査	前々回調査
そう思う	20.1	15.9	29.1	15.0	17.3	26.3
いちがいにはいけない	30.6	32.3	41.0	30.6	31.7	46.3
そう思わない	24.1	31.6	24.0	20.8	23.6	21.2
わからない	16.0	13.5	-	22.4	20.4	-
無回答	9.2	6.7	5.9	11.2	7.0	6.2

性別で見ると、男女ともに「わからない」の割合が最も高くなっている。また、「わからない」は女性の割合が高く、「そう思う」や「そう思わない」は男性の割合が高くなっている。

前回、前々回調査と比較すると、「いちがいにはいけない」の割合は男女ともに減少してきている。また、前回調査より、「わからない」は男女ともに増加している。

表 1-11 人権意識の変化【年齢別】 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
そう思う	17.6	21.7	15.4	18.4	16.4	14.2	19.2
いちがいにはいけない	23.5	32.2	28.4	29.5	33.1	31.3	29.5
そう思わない	11.8	15.7	29.0	26.4	23.1	25.4	15.4
わからない	35.3	23.5	18.9	16.9	13.5	19.3	24.7
無回答	11.8	7.0	8.3	8.8	13.9	9.8	11.1

年齢別で見ると、「そう思う」の割合は、20歳代が21.7%で最も高く、次いで70歳以上が19.2%、40歳代が18.4%であり、60歳代が14.2%で最も低くなっている。

また、「そう思わない」の割合は、30歳代が29.0%で最も高く、10歳代が11.8%で最も低くなっている。

表 1-12 人権意識の変化【職業別】 (%)

	農 林 漁 業	サ ー ビ ス 業	商 工 業	勤 め	職 員 、 公 務 員 及 び	医 療 ・ 福 祉 ・ 社 会 工 働 者	教 育 ・ 学 校 教 員 ・ 学 生	そ の 他 有 職	自 由 業 、 専 業 職	家 事 専 業	生 徒 ・ 学 生	無 職
そう思う	16.5	16.5	14.6	17.8	23.4	16.2	27.5	18.8				
いちがいにはいけない	33.0	29.9	30.2	36.3	28.1	30.7	32.5	27.0				
そう思わない	22.9	22.8	25.5	22.4	21.9	18.4	15.0	20.8				
わからない	21.1	18.1	20.5	12.4	21.9	25.1	17.5	20.8				
無回答	6.4	12.6	9.2	11.2	4.7	9.5	7.5	12.6				

職業別でみると、「そう思う」の割合は、『生徒・学生』が27.5%で最も高く、次いで『自由業、その他有職』が23.4%、『無職』が18.8%であり、『勤め』が14.6%で最も低くなっている。

また、「そう思わない」の割合は、『勤め』が25.5%で最も高く、『生徒・学生』が15.0%で最も低くなっている。

【参考】全国調査（内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<人権侵害の推移>

問2 新聞、テレビなどで「人権問題」とか「人権が侵害された」というニュースが報道されることがありますが、あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。この中から1つだけお答えください。

平成29年10月 (参考)平成24年8月

・少なくなってきた	14.3%	12.1%
・あまり変わらない	50.8%	46.5%
・多くなってきた	29.4%	34.0%
・わからない	5.6%	7.3%

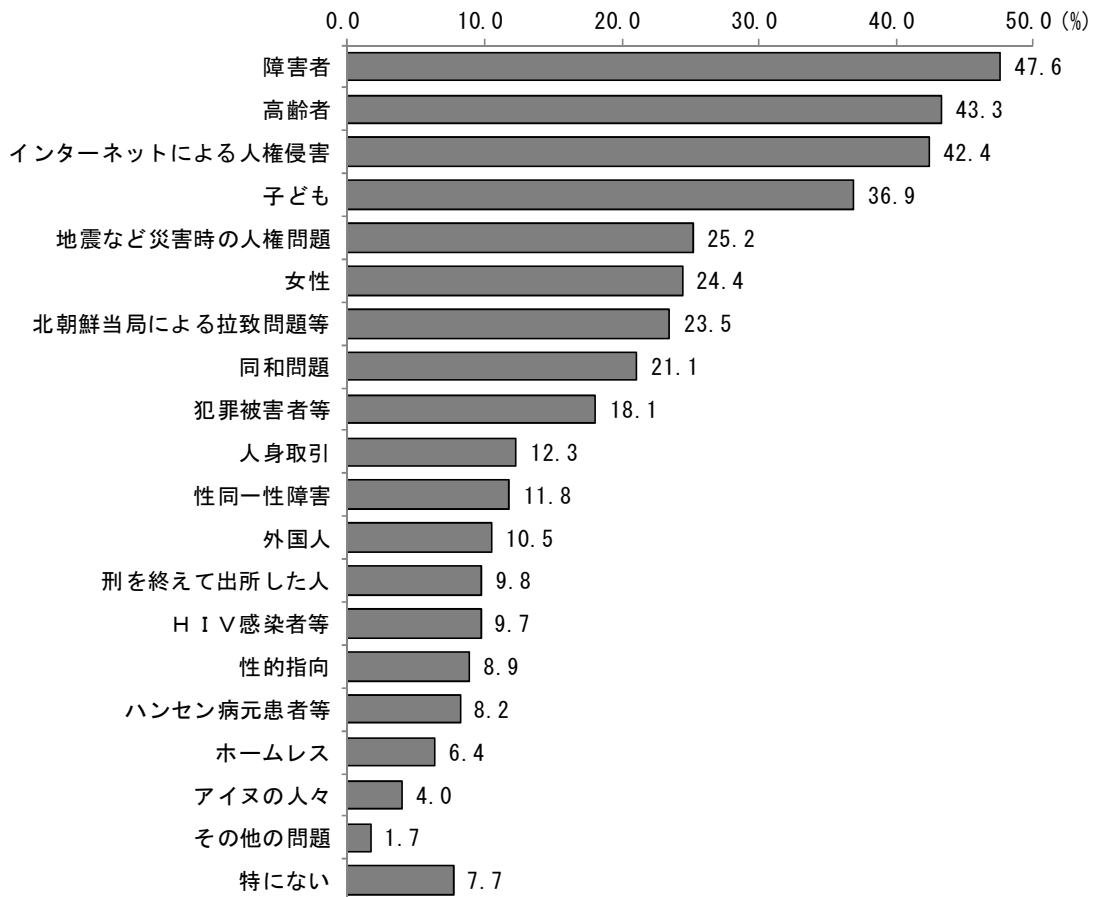
(4) 関心のある人権問題

問1-3 日本の社会における人権にかかわる問題として、あなたが関心のあるものはどれですか。

【〇はいくつでも】

1. 同和問題	2. 女性
3. 子ども	4. 高齢者
5. 障害者	6. HIV感染者等
7. ハンセン病元患者等	8. 外国人
9. 犯罪被害者等	10. インターネットによる人権侵害
11. 地震など災害時の人権問題	12. アイヌの人々
13. 刑を終えて出所した人	14. 北朝鮮当局による拉致問題等
15. ホームレス	16. 性的指向
17. 性同一性障害	18. 人身取引
19. その他の問題（具体的に)	20. 特にない

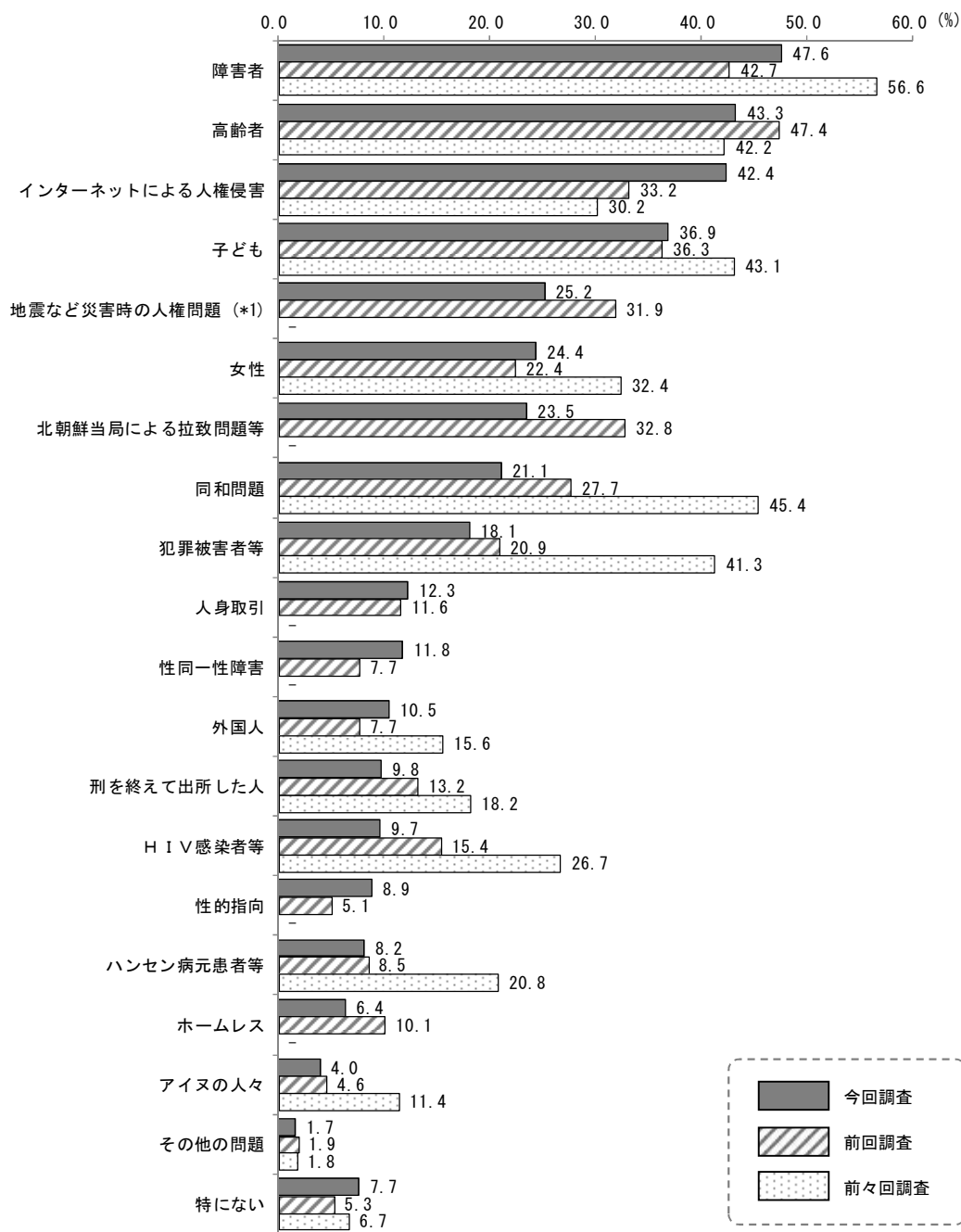
図1-13 関心のある人権問題 (%)



関心のある人権問題は、「障害者」の割合が47.6%で最も高く、次いで「高齢者」が43.3%、「インターネットによる人権侵害」が42.4%となっている。

「その他」の記述としては、「いじめ」「パワー・ハラスメント」「難病などの患者」「低所得者」などがあつた。

図 1-14 関心のある人権問題 [過去調査との比較]



*1 「地震など災害時の人権問題」は、前回調査「震災における風評被害等による人権侵害」との比較。

前回、前々回調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」の割合は増加してきており、「同和問題」や「犯罪被害者等」は減少してきている。

また、前回調査より、「障害者」や「性同一性障害」の割合は増加し、「高齢者」や「地震など災害時の人権問題」は減少している。

表 1-15 関心のある人権問題【性別】

	男性			女性		
	今回調査	前回調査	前々回調査	今回調査	前回調査	前々回調査
障害者	46.7	43.9	57.0	48.3	42.8	56.1
高齢者	38.7	41.9	39.6	46.8	52.3	43.3
インターネットによる人権侵害	40.5	32.1	30.1	44.1	35.2	30.7
子ども	34.4	32.5	38.8	39.1	39.8	46.4
地震など災害時の人権問題	22.7	31.6	-	27.4	32.8	-
女性	16.6	14.9	24.5	30.8	29.0	38.4
北朝鮮当局による拉致問題等	25.5	32.6	-	22.0	33.7	-
同和問題	24.4	32.8	52.2	18.8	24.3	40.2
犯罪被害者等	18.7	21.0	42.3	17.7	21.4	40.8
人身取引	11.6	11.1	-	12.9	12.0	-
性同一性障害	10.3	6.5	-	13.0	8.7	-
外国人	11.6	8.5	20.0	9.7	7.4	12.2
刑を終えて出所した人	9.1	14.0	18.0	10.3	13.1	18.2
H I V感染者等	9.8	13.3	29.3	9.6	17.3	25.1
性的指向	8.4	5.0	-	9.3	5.2	-
ハンセン病元患者等	7.6	8.9	21.5	8.7	8.5	20.4
ホームレス	6.1	11.6	-	6.6	9.0	-
アイヌの人々	3.4	4.8	14.1	4.5	4.6	9.5
その他の問題	2.0	2.1	1.9	1.3	1.6	1.8
特にない	9.3	4.6	7.2	6.3	6.0	6.1

性別で見ると、男女ともに「障害者」の割合が最も高くなっている。また、「高齢者」や「女性」などでは女性の割合が高く、「北朝鮮当局による拉致問題等」や「同和問題」などでは男性の割合が高くなっている。

前回、前々回調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」の割合は男女ともに増加してきており、前々回調査より 10 ポイント以上高くなっている。

表 1-16 関心のある人権問題【年齢別】

	1 0 歳 代	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以 上
障害者	29.4	40.9	46.7	46.4	53.4	52.0	43.4
高齢者	23.5	27.8	23.7	33.3	41.6	53.4	55.3
インターネットによる人権侵害	58.8	51.3	46.2	51.3	53.0	43.6	23.2
子ども	29.4	42.6	46.2	46.4	34.5	36.9	27.5
地震など災害時の人権問題	29.4	20.0	31.4	24.1	28.8	26.3	21.7
女性	29.4	27.8	34.9	31.0	27.4	23.5	13.1
北朝鮮当局による拉致問題等	0.0	16.5	9.5	13.4	21.7	34.6	30.6
同和問題	5.9	14.8	21.3	20.3	26.0	20.4	21.7
犯罪被害者等	17.6	17.4	21.3	21.8	20.6	21.2	9.8
人身取引	17.6	12.2	8.3	15.7	10.3	14.0	11.6
性同一性障害	17.6	23.5	24.9	16.5	12.5	7.8	2.8
外国人	5.9	17.4	15.4	13.4	13.9	6.7	5.8
刑を終えて出所した人	5.9	9.6	9.5	10.3	11.0	10.1	8.6
H I V感染者等	0.0	11.3	8.3	11.5	13.5	8.7	7.1
性的指向	11.8	20.0	16.6	13.0	8.9	4.5	3.5
ハンセン病元患者等	17.6	5.2	4.7	9.6	10.3	8.4	7.8
ホームレス	5.9	7.8	2.4	5.4	8.2	7.0	6.6
アイヌの人々	0.0	0.9	1.8	3.8	4.3	6.4	3.8
その他の問題	0.0	2.6	0.6	1.5	2.5	2.0	1.0
特になし	17.6	5.2	8.3	7.3	6.8	7.0	9.3

年齢別で見ると、10歳代、20歳代、40歳代では「インターネットによる人権侵害」が、30歳代と50歳代では「障害者」が、60歳代と70歳以上では「高齢者」の割合が、それぞれ最も高くなっている。

また50歳代の「インターネットによる人権侵害」や60歳代の「障害者」が高い割合となっている。

表 1-17 関心のある人権問題【職業別】

	農 林 漁 業	サ ー ビ ス 業	商 工 業	勤 め	職 員 、 医 療 関 係 者 、 公 務 員 及 び	教 育 ・ 福 祉	そ の 他 有 職	自 由 業 、 家 事 専 業	生 徒 ・ 学 生	無 職
障害者	35.8	42.5	43.9	62.5	39.1	50.3	50.0	47.3		
高齢者	34.9	36.2	35.8	43.2	35.9	55.9	37.5	51.7		
インターネットによる人権侵害	29.4	47.2	45.8	58.7	35.9	40.8	50.0	31.9		
子ども	28.4	29.9	35.1	52.5	34.4	42.5	42.5	31.1		
地震など災害時の人権問題	15.6	27.6	23.3	30.5	20.3	25.1	27.5	27.2		
女性	15.6	18.1	27.4	38.2	15.6	27.9	32.5	15.7		
北朝鮮当局による拉致問題等	18.3	21.3	18.6	17.8	26.6	31.8	17.5	31.6		
同和問題	16.5	22.8	21.7	26.3	32.8	17.9	7.5	19.5		
犯罪被害者等	8.3	18.1	18.4	25.1	32.8	14.5	17.5	15.4		
人身取引	9.2	16.5	11.3	15.4	14.1	10.6	7.5	12.1		
性同一性障害	10.1	10.2	13.9	22.4	7.8	8.4	20.0	5.1		
外国人	10.1	9.4	10.4	16.6	14.1	7.3	15.0	7.7		
刑を終えて出所した人	4.6	10.2	7.8	12.7	9.4	12.8	5.0	10.5		
H I V感染者等	4.6	8.7	10.6	15.1	10.9	6.7	5.0	8.5		
性的指向	5.5	7.1	8.0	18.5	4.7	4.5	17.5	6.9		
ハンセン病元患者等	6.4	9.4	6.1	9.3	6.3	8.4	20.0	9.3		
ホームレス	2.8	5.5	6.6	3.9	4.7	10.1	7.5	7.7		
アイヌの人々	3.7	3.9	3.5	5.0	0.0	7.3	0.0	3.6		
その他の問題	1.8	4.7	1.2	1.9	0.0	0.6	0.0	1.8		
特にない	12.8	8.7	8.0	1.9	4.7	7.8	5.0	9.8		

職業別でみると、『農林漁業』『教育・福祉・医療関係者及び職員、公務員』『自由業、その他有職』では「障害者」が、『商工サービス業』と『勤め』では「インターネットによる人権侵害」が、『家事専業』と『無職』では「高齢者」が、『生徒・学生』では「障害者」と「インターネットによる人権侵害」の割合が、それぞれ最も高くなっている。

また、『教育・福祉・医療関係者及び職員、公務員』の「インターネットによる人権侵害」と「子ども」や『家事専業』の「障害者」が高い割合となっている。

【参考】全国調査（内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<人権課題に対する関心>

問5 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。
この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位5項目）

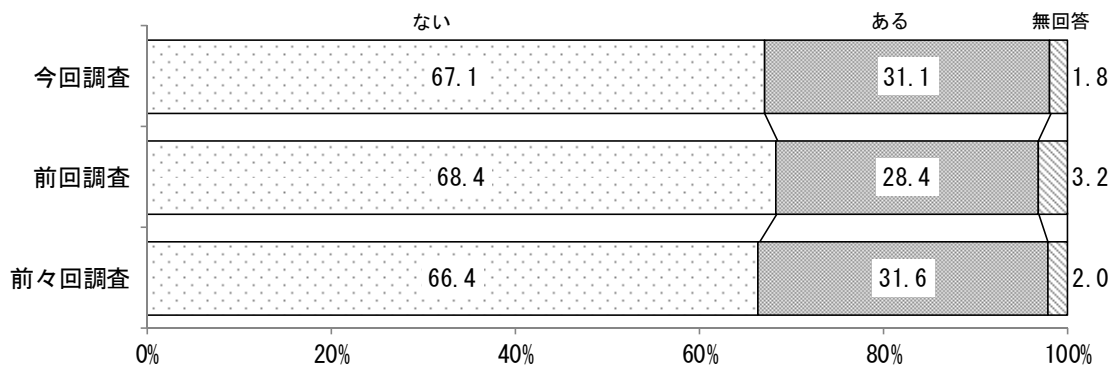
	平成 29 年 10 月	（参考）平成 24 年 8 月
・ 障害者	51.1%	39.4%
・ インターネットによる人権侵害	43.2%	36.0%
・ 高齢者	36.7%	34.8%
・ 子ども	33.7%	38.1%
・ 女性	30.6%	26.9%

(5) 人権侵害の経験

問1-4 あなたは今までに、ご自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。
【いずれかに○印を】

1. ある → （副問1と2へ）
2. ない → （問2-1へ）

図 1-18 人権侵害の経験（%）



人権が侵害された経験については、「ない」の割合が 67.1%、「ある」が 31.1%となっている。

前回、前々回調査と比較すると、「ある」「ない」の割合ともあまり変化が見られない。

表 1-19 人権侵害の経験【性別】 (%)

	男性			女性		
	今回調査	前回調査	前々回調査	今回調査	前回調査	前々回調査
ある	25.1	26.2	30.2	35.8	31.0	32.7
ない	73.5	71.1	68.0	62.2	67.5	65.6
無回答	1.4	2.7	1.8	2.0	1.5	1.7

性別で見ると、「ある」の割合は、女性が35.8%、男性が25.1%と女性が高くなっている。

前回調査と比較すると、女性では「ある」の割合が増加し、男性では「ない」が増加している。

表 1-20 人権侵害の経験【年齢別】 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
ある	29.4	29.6	40.2	42.1	39.5	28.2	16.9
ない	70.6	68.7	59.2	57.1	59.1	70.7	79.0
無回答	0.0	1.7	0.6	0.8	1.4	1.1	4.0

年齢別で見ると、「ある」の割合は、40歳代が42.1%で最も高く、次いで30歳代が40.2%、50歳代が39.5%であり、70歳以上が16.9%で最も低くなっている。

表 1-21 人権侵害の経験【職業別】 (%)

	農 林 漁 業	サ ー ビ ス 業	商 工 業	勤 め	職 員 、 公 務 員 及 び	医 療 、 関 係 者 及 び	教 育 ・ 福 祉 ・	そ の 他 有 職	自 由 業 、 そ の 他 有 職	家 事 専 業	生 徒 ・ 学 生	無 職
ある	25.7	28.3	33.3	33.3	41.3	23.4	27.9	27.5	27.2			
ない	74.3	71.7	66.3	66.3	57.5	70.3	68.2	72.5	69.9			
無回答	0.0	0.0	0.5	0.5	1.2	6.3	3.9	0.0	2.8			

職業別で見ると、「ある」の割合は『教育・福祉・医療関係者及び職員、公務員』が41.3%で最も高く、次いで『勤め』が33.3%、『商工サービス業』が28.3%であり、『自由業、その他有職』が23.4%で最も低くなっている。

【参考】全国調査（内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<人権侵害の経験>

問3 あなたは、今までに、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか、それともそういうことはありませんか。

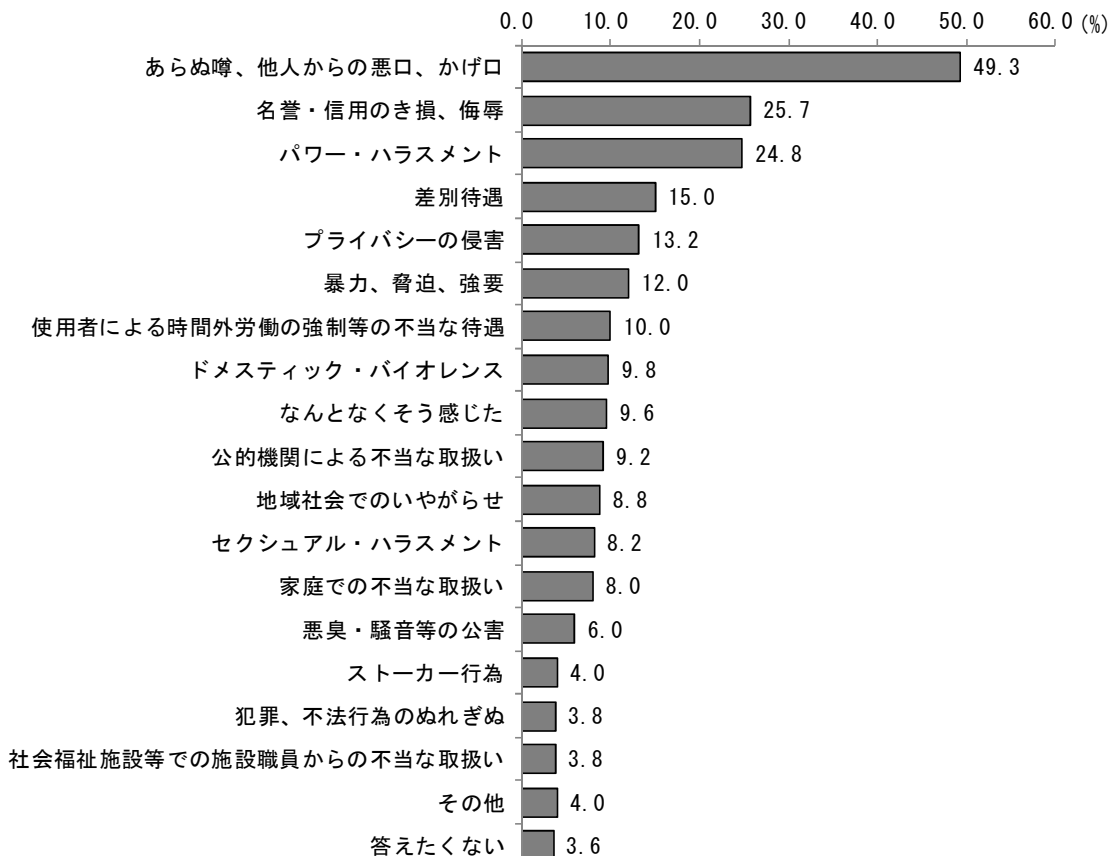
	平成 29 年 10 月	(参考)平成 24 年 8 月
・ある	15.9%	16.6%
・ない	84.1%	83.4%

(6) 人権が侵害されたと思った内容

問1-4副問1 [問1-4で「1. ある」と答えた方にお尋ねします]
 それはどのようなことで人権が侵害されたと思いましたか。
 【〇はいくつでも】

1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口
2. 名誉・信用のき損（傷つけること）、侮辱
3. 暴力、脅迫、強要（社会的地位、慣習、脅迫などにより、本来義務のないことをやらされたり、権利の行使を妨害された）
4. 犯罪、不法行為のぬれぎぬ
5. 悪臭・騒音等の公害
6. 差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分等により、不平等または不利益な取扱いをされた）
7. 地域社会でのいやがらせ
8. 公的機関による不当な取扱い
9. 使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇
10. プライバシーの侵害
11. セクシュアル・ハラスメント
12. パワー・ハラスメント
13. ドメスティック・バイオレンス（DV）
14. ストーカー行為
15. 家庭での不当な取扱い
16. 社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い
17. その他（具体的に ）
18. なんとなくそう感じた
19. 答えたくない

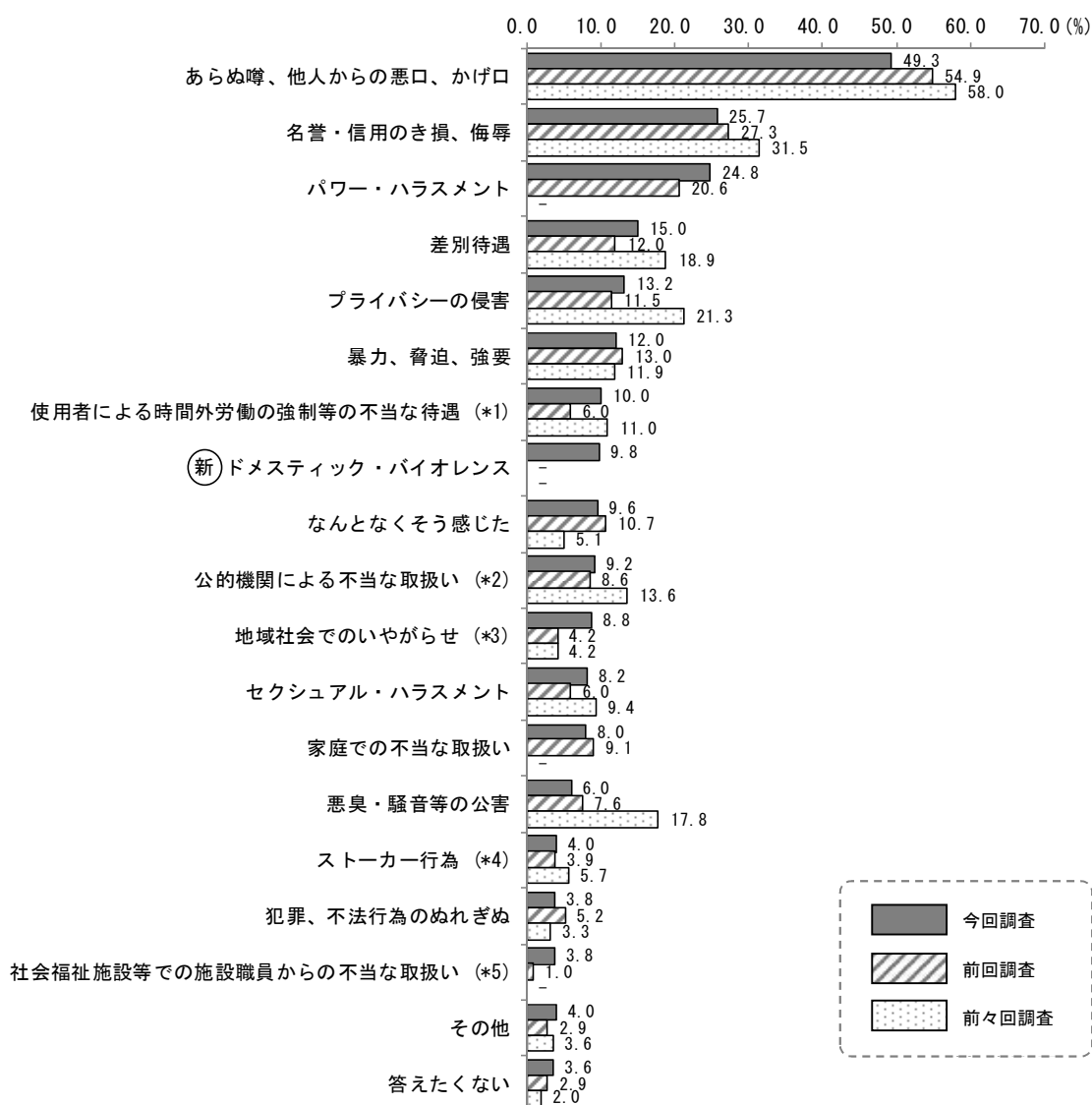
図1-22 人権が侵害されたと思った内容（%）



どのようなことで人権が侵害されたと思ったかについては、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」の割合が49.3%で最も高く、次いで「名誉・信用のき損、侮辱」が25.7%、「パワー・ハラスメント」が24.8%となっている。

「その他」の記述としては、「職業差別」「いじめ」「モラルハラスメント」などがあつた。

図 1-23 人権が侵害されたと思った内容 (%) [過去調査との比較]



*1 「使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇」は、前回・前々回調査「使用者による労働強制等の不当な待遇」との比較。

*2 「公的機関による不当な取扱い」は、前々回調査「警察官の不当な取扱い」との比較。

*3 「地域社会でのいやがらせ」は、前回調査「地域などでの仲間はずれ」及び、前々回調査「村八分」との比較。

*4 「ストーカー行為」は、前々回調査「特定の人に執拗につきまとわれる」との比較。

*5 「社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い」は、前回調査「社会福祉施設での不当な取扱い」との比較

前回、前々回調査と比較すると、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」や「名誉・信用のき損、侮辱」の割合は減少してきている。

また、前回調査より、「パワー・ハラスメント」や「差別待遇」の割合は増加している。

表 1-24 人権が侵害されたと思った内容【性別】 (%)

	男性			女性		
	今回調査	前回調査	前々回調査	今回調査	前回調査	前々回調査
あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	46.3	49.0	53.7	50.6	59.0	61.3
名誉・信用のき損、侮辱	30.5	33.3	30.5	22.6	23.8	31.7
パワー・ハラスメント	24.9	22.2	-	25.2	19.4	-
差別待遇	15.8	10.5	18.6	14.5	13.2	18.8
プライバシーの侵害	13.0	12.4	18.0	13.5	11.0	24.3
暴力、脅迫、強要	15.3	14.4	15.8	10.4	12.3	9.2
使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	16.4	9.8	9.6	6.6	3.5	11.8
ドメスティック・バイオレンス	2.3	-	-	14.2	-	-
なんとなくそう感じた	10.7	9.8	5.8	9.1	11.0	4.8
公的機関による不当な取扱い	13.0	11.8	20.9	7.2	6.6	9.0
地域社会でのいやがらせ	7.9	3.9	4.8	8.8	4.4	3.9
セクシュアル・ハラスメント	2.3	2.0	1.6	11.6	8.8	15.1
家庭での不当な取扱い	2.8	2.6	-	11.0	13.7	-
悪臭・騒音等の公害	7.9	8.5	23.5	5.0	7.0	14.0
ストーカー行為	1.7	3.9	3.2	5.0	4.0	7.7
犯罪、不法行為のぬれぎぬ	6.8	11.1	4.8	1.9	1.3	2.4
社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	4.0	0.7	-	3.8	1.3	-
その他	2.8	3.3	4.2	4.7	2.2	3.3
答えたくない	3.4	3.3	1.9	3.5	2.6	1.8

性別で見ると、男女ともに「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」の割合が最も高くなっている。また、「ドメスティック・バイオレンス」や「家庭での不当な取扱い」などでは女性の割合が高く、「名誉・信用のき損、侮辱」や「使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇」などでは男性の割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、女性では「パワー・ハラスメント」が、男性では「使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇」が最も割合が増加している。

表 1-25 人権が侵害されたと考えた内容【年齢別】 (%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	80.0	70.6	47.1	50.0	43.2	40.6	58.2
名誉・信用のき損、侮辱	0.0	17.6	33.8	25.5	24.3	25.7	25.4
パワー・ハラスメント	0.0	23.5	23.5	32.7	34.2	17.8	11.9
差別待遇	0.0	11.8	11.8	19.1	12.6	18.8	11.9
プライバシーの侵害	0.0	8.8	14.7	19.1	14.4	10.9	7.5
暴力、脅迫、強要	0.0	11.8	10.3	15.5	12.6	11.9	9.0
使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	0.0	11.8	13.2	13.6	11.7	5.0	6.0
ドメスティック・バイオレンス	0.0	11.8	8.8	15.5	9.0	5.9	9.0
なんとなくそう感じた	20.0	2.9	10.3	7.3	8.1	10.9	16.4
公的機関による不当な取扱い	0.0	5.9	4.4	10.9	11.7	8.9	10.4
地域社会でのいやがらせ	0.0	2.9	1.5	6.4	10.8	12.9	13.4
セクシュアル・ハラスメント	0.0	8.8	7.4	18.2	6.3	4.0	3.0
家庭での不当な取扱い	0.0	11.8	0.0	12.7	9.0	8.9	4.5
悪臭・騒音等の公害	0.0	0.0	4.4	4.5	6.3	8.9	9.0
ストーカー行為	0.0	0.0	5.9	8.2	3.6	1.0	1.5
犯罪、不法行為のぬれぎぬ	0.0	2.9	7.4	0.9	4.5	5.9	0.0
社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	0.0	2.9	1.5	5.5	3.6	5.9	1.5
その他	0.0	11.8	4.4	1.8	7.2	1.0	3.0
答えたくない	0.0	0.0	5.9	0.9	3.6	2.0	9.0

年齢別で見ると、全ての年齢層で「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」の割合が最も高くなっている。

また、30歳代の「名誉・信用のき損、侮辱」や40歳代と50歳代の「パワー・ハラスメント」が高い割合となっている。

表 1-26 人権が侵害されたと思った内容【職業別】 (%)

	農 林 漁 業	サ 商 工 ビ ス 業	勤 め	職 医 教 育 ・ 公 務 員 及 び	職 療 関 係 者 及 び	自 由 業 、 そ の 他 有 職	家 事 専 業	生 徒 ・ 学 生	無 職
あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	42.9	58.3	41.8	51.4	46.7	52.0	72.7	51.9	
名誉・信用のき損、侮辱	21.4	33.3	23.4	28.0	46.7	20.0	9.1	26.4	
パワー・ハラスメント	14.3	11.1	30.5	36.4	26.7	20.0	9.1	16.0	
差別待遇	3.6	30.6	12.1	16.8	13.3	20.0	18.2	12.3	
プライバシーの侵害	7.1	13.9	12.1	16.8	0.0	10.0	9.1	17.0	
暴力、脅迫、強要	21.4	13.9	11.3	15.9	20.0	10.0	0.0	7.5	
使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇	10.7	8.3	15.6	9.3	0.0	4.0	9.1	7.5	
ドメスティック・バイオレンス	3.6	5.6	9.2	18.7	0.0	10.0	0.0	7.5	
なんとなくそう感じた	7.1	8.3	12.8	4.7	13.3	6.0	0.0	14.2	
公的機関による不当な取扱い	10.7	13.9	7.1	7.5	13.3	6.0	0.0	14.2	
地域社会でのいやがらせ	7.1	16.7	5.0	6.5	6.7	18.0	0.0	10.4	
セクシュアル・ハラスメント	3.6	5.6	7.8	13.1	0.0	12.0	0.0	6.6	
家庭での不当な取扱い	3.6	16.7	7.8	7.5	0.0	12.0	0.0	7.5	
悪臭・騒音等の公害	7.1	5.6	5.0	2.8	0.0	6.0	0.0	12.3	
ストーカー行為	3.6	0.0	3.5	9.3	0.0	2.0	0.0	1.9	
犯罪、不法行為のぬれぎぬ	3.6	5.6	3.5	5.6	0.0	0.0	0.0	3.8	
社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い	7.1	8.3	0.0	2.8	0.0	6.0	0.0	7.5	
その他	3.6	0.0	8.5	2.8	0.0	4.0	9.1	0.9	
答えたくない	10.7	2.8	2.8	1.9	6.7	2.0	0.0	5.7	

職業別でみると、『自由業、その他有職』では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」と「名誉・信用のき損、侮辱」が、そのほかの職業では「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」の割合が最も高くなっている。

また、『商工サービス業』の「名誉・信用のき損、侮辱」と「差別待遇」や『勤め』と『教育・福祉・医療関係者及び職員、公務員』の「パワー・ハラスメント」が高い割合となっている。

【参考】全国調査（内閣府 人権擁護に関する世論調査）

<人権侵害の内容>

問3更問 それは、どのような場合ですか。差し支えなければこの中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位5項目）

平成 29 年 10 月 （参考）平成 24 年 8 月

・あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	51.6%	47.4%
・職場での嫌がらせ	26.2%	24.2%
・名誉・信用のき損、侮辱	21.1%	18.1%
・学校でのいじめ	21.1%	17.7%
・プライバシーの侵害	19.4%	20.0%

(7) 人権が侵害されたと思ったときの対応

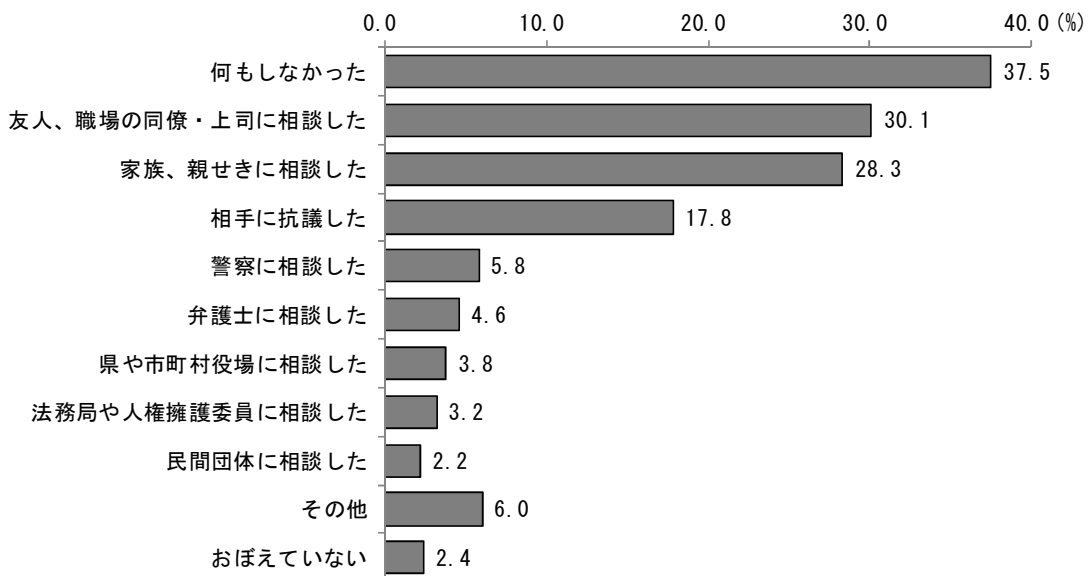
問1-4副問2 [問1-4で「1. ある」と答えた方にお尋ねします]

その（侵害されたと思った）ときにどうされましたか。どなたかへ相談したことがありますか、それともご自分で処理されましたか。

【〇はいくつでも】

1. 友人、職場の同僚・上司に相談した	2. 家族、親せきに相談した
3. 弁護士に相談した	4. 警察に相談した
5. 法務局や人権擁護委員に相談した	6. 県や市町村役場に相談した
7. 民間団体に相談した	8. 相手に抗議した
9. 何もしなかった	10. その他（具体的に ）
11. おぼえていない	

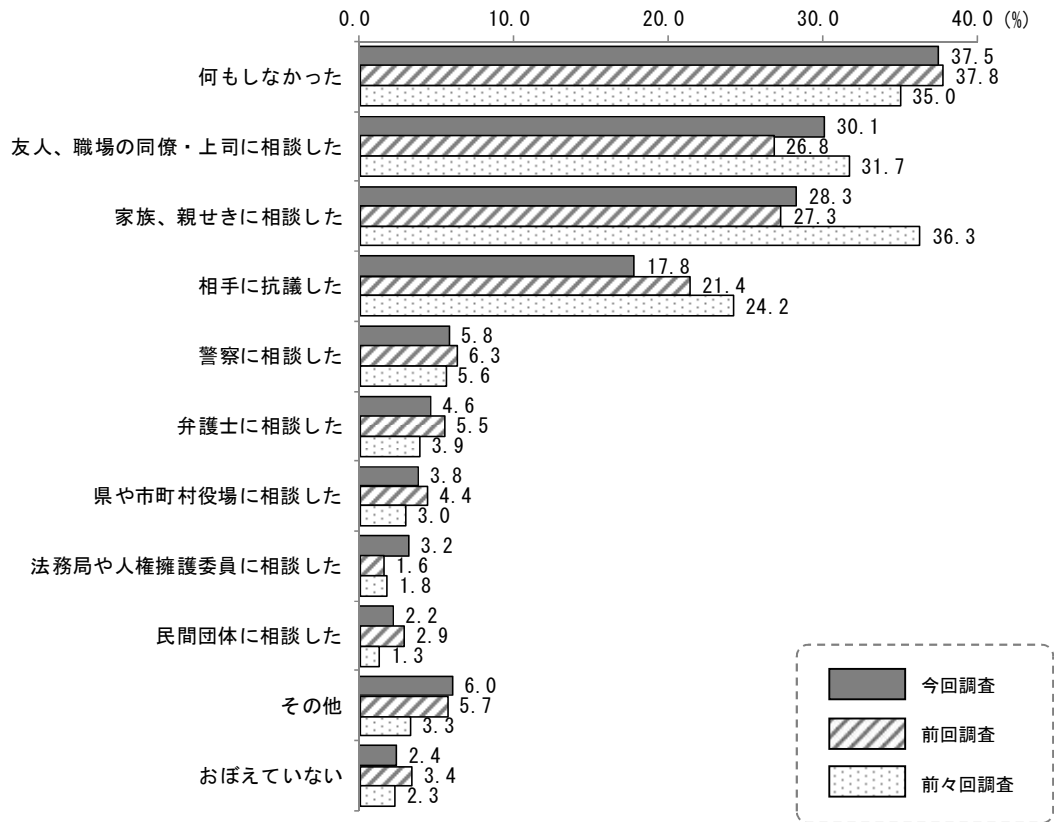
図 1-27 人権が侵害されたと思ったときの対応 (%)



人権が侵害されたと思ったときどうしたかについては、「何もしなかった」の割合が37.5%で最も高く、次いで「友人、職場の同僚・上司に相談した」が30.1%、「家族、親せきに相談した」が28.3%となっている。

「その他」の記述としては、「労働基準監督署に相談した」「学校、担任の先生に相談した」「民生委員に相談した」「仕事を辞めた」などがあつた。

図 1-28 人権が侵害されたと思ったときの対応 (%) [過去調査との比較]



前回、前々回調査と比較すると、「何もしなかった」の割合はあまり変化が見られないが、「相手に抗議した」は減少してきている。

また、前回調査より、「友人、職場の同僚・上司に相談した」や「家族、親せきに相談した」の割合は増加している。

表 1-29 人権が侵害されたと思ったときの対応【性別】 (%)

	男性			女性		
	今回調査	前回調査	前々回調査	今回調査	前回調査	前々回調査
何もしなかった	46.9	37.9	37.6	32.7	37.9	31.7
友人、職場の同僚・上司に相談した	20.9	22.9	24.8	34.9	29.5	37.0
家族、親せきに相談した	20.9	18.3	28.0	32.4	33.9	42.5
相手に抗議した	20.3	24.2	31.5	16.4	19.4	19.7
警察に相談した	6.2	5.9	5.1	5.3	6.6	6.1
弁護士に相談した	5.6	7.8	5.5	4.1	3.5	3.1
県や市町村役場に相談した	3.4	3.9	4.5	3.8	4.8	2.2
法務局や人権擁護委員に相談した	2.8	1.3	1.6	3.5	1.8	2.0
民間団体に相談した	3.4	2.6	2.9	1.6	3.1	0.2
その他	4.5	5.2	2.9	6.9	6.2	3.7
おぼえていない	3.4	3.3	2.9	1.9	3.1	2.0

性別で見ると、女性では「友人、職場の同僚・上司に相談した」が、男性では「何もしなかった」の割合が最も高くなっている。また、「友人、職場の同僚・上司に相談した」や「家族、親せきに相談した」などでは女性の割合が高く、「何もしなかった」や「相手に抗議した」などでは男性の割合が高くなっている。

前回、前々回調査と比較すると、「相手に抗議した」の割合は男女ともに減少してきている。また、前回調査より、女性では「友人、職場の同僚・上司に相談した」が、男性では「何もしなかった」が最も割合が増加している。

表 1-30 人権が侵害されたと思ったときの対応【年齢別】 (%)

	1 0 歳 代	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以上
何もしなかった	40.0	38.2	25.0	30.9	38.7	44.6	49.3
友人、職場の同僚・上司に相談した	0.0	38.2	38.2	38.2	32.4	22.8	13.4
家族、親せきに相談した	40.0	26.5	47.1	36.4	18.0	19.8	25.4
相手に抗議した	20.0	5.9	17.6	14.5	26.1	18.8	14.9
警察に相談した	0.0	0.0	10.3	4.5	4.5	5.0	9.0
弁護士に相談した	0.0	0.0	4.4	3.6	3.6	9.9	3.0
県や市町村役場に相談した	0.0	0.0	0.0	1.8	2.7	7.9	7.5
法務局や人権擁護委員に相談した	0.0	0.0	1.5	2.7	3.6	4.0	6.0
民間団体に相談した	0.0	0.0	4.4	0.9	2.7	3.0	1.5
その他	0.0	8.8	7.4	6.4	5.4	5.0	6.0
おぼえていない	20.0	2.9	1.5	4.5	1.8	2.0	0.0

年齢別でみると、10歳代では「何もしなかった」と「家族、親せきに相談した」が、20歳代では「何もしなかった」と「友人、職場の同僚・上司に相談した」が、30歳代では「家族、親せきに相談した」が、40歳代では「友人、職場の同僚・上司に相談した」が、50歳代以上の年齢層では「何もしなかった」の割合が、それぞれ最も高くなっている。

また、30歳代と50歳代の「友人、職場の同僚・上司に相談した」や40歳代の「家族、親せきに相談した」が高い割合となっている。

表 1-31 人権が侵害されたと思ったときの対応【職業別】 (%)

	農 林 漁 業	サ ー 工 ビ ス 業	勤 め	職 員 、 医 療 関 係 者 及 び 公 務 員	教 育 ・ 福 祉 ・ 医 療 関 係 者 及 び 公 務 員	そ の 他 有 職	自 由 業 、 家 事 専 業	生 徒 ・ 学 生	無 職
何もしなかった	39.3	38.9	35.5	28.0	53.3	44.0	45.5	42.5	
友人、職場の同僚・上司に相談した	21.4	22.2	34.0	44.9	26.7	30.0	18.2	17.0	
家族、親せきに相談した	21.4	25.0	31.9	32.7	13.3	28.0	18.2	25.5	
相手に抗議した	17.9	27.8	16.3	15.9	20.0	14.0	9.1	20.8	
警察に相談した	3.6	5.6	4.3	8.4	0.0	0.0	0.0	9.4	
弁護士に相談した	10.7	5.6	2.8	7.5	6.7	2.0	0.0	3.8	
県や市町村役場に相談した	0.0	8.3	2.1	4.7	0.0	2.0	0.0	5.7	
法務局や人権擁護委員に相談した	3.6	11.1	0.7	3.7	6.7	4.0	0.0	2.8	
民間団体に相談した	3.6	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	1.9	
その他	10.7	5.6	3.5	10.3	6.7	4.0	0.0	4.7	
おぼえていない	7.1	0.0	3.5	0.9	0.0	2.0	9.1	1.9	

職業別でみると、『教育・福祉・医療関係者及び職員、公務員』では「友人、職場の同僚・上司に相談した」が、そのほかの職業では「何もしなかった」の割合が最も高くなっている。

また、『勤め』の「友人、職場の同僚・上司に相談した」と「家族、親せきに相談した」や『教育・福祉・医療関係者及び職員、公務員』の「家族、親せきに相談した」が高い割合となっている。